

## 令和6年度(第21期)奨学生募集要項

## 公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団(理事長 井上徳造)は、わが国の科学技術創造立国をより高める中で、基礎技術を持つアナログ技術者を外国に依存し、出来上がった IC(集積回路)を使うデジタル技術者のみが増加する傾向にあることを懸念しております。

将来的に基礎技術を持つ技術者不足を補うためにも、アナログ技術者の育成が不可欠です。ここに、電子通信工学の基礎知識の習得と独創性を持った若い技術者の育成が重要であることから奨学援助を行うことを目的として奨学生を募集します。

## 1 奨学生の資格等

- (1) 近畿地域(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県をいう。)並びに福井県、岐阜県、愛知県及び三重県の大学(高等専門学校専攻科を含む。以下、この要項において同じ。)又は大学院で電子通信工学関係を学んでいる者であって、次の①及び②のいずれかに該当する者。

なお、応募は本財団の当該年度における調査・研究助成金との併願は認めません。

- ① 大学生は給付の時期に3年以上(高等専門学校生は専攻科)に在学のこと。  
② 大学院生は給付の時期に在学のこと。

- (2) 前項において、主たる生計維持者が不慮の事故等で、在学中に学費の支出が困難になった者については、選考において一定の考慮を行います。

(奨学生願書の奨学生を希望する理由及び使用目的欄に記載)

## 2 応募期間

令和6年1月4日(木)から令和6年1月19日(金)まで  
(1月19日消印有効)

## 3 応募書類(様式)の入手方法

当財団のホームページからダウンロードしてください。

URL <https://www.icom.or.jp/bosyu/>

#### 4 応募時に提出する書類

- (1) 奨学生願書(財団制定様式)
- (2) 奨学生推薦書(財団制定様式による在学学長等の推薦書)
- (3) 成績証明書(大学院生は大学院と学部、高等専門学校生は専攻科と本科の両方を提出してください。)
- (4) 本人宛てに選考結果を通知するための返信用封筒(長3封筒に住所、宛名を記入し、84円切手を貼付してください。)
- (5) 提出書類は全て日本語で記載してください。
- (6) 奨学生願書、添付書類は片面で記載して裏面は空白にしてください。
- (7) 写真の裏面には生年月日及び氏名を記載して貼り付けてください。

以上を全て書面で提出してください。また、(1)についてはWord形式のままCD-R又はDVD-Rに記録したのも同封してください。

#### 5 奨学生の選考と決定

- (1) 本財団奨学生選考委員会の選考を経て、採用内定者を決定し、3月中旬ごろに本人及び学校に通知します。
- (2) 内定者の正式採用は、在学証明書の提出により決定します。

#### 6 奨学生の人数

80名予定(ただし、予算により変更する場合があります。)

#### 7 奨学金の額等

- (1) 奨学給付金額は、月額5万円です。
- (2) 本財団の奨学金は、返済の義務はありません。
- (3) 他の奨学金との併給は支障ありません。

#### 8 給付期間

給付期間は、大学3年以上(高等専門学校は専攻科)又は大学院に在籍する令和6年4月1日から1年間です。

#### 9 奨学生の義務

本財団の奨学生に採用内定された方は、次の奨学生証書交付式に必ずご出席していただきます。

#### 10 奨学生証書交付式(予定)

日時 令和6年3月末ごろ(別途連絡)

場所 大阪市平野区加美南1-1-32 アイコム株式会社 3階会議室

## 11 奨学生の遵守事項

- (1) 一層の学業に精進し健康に留意して、本財団の期待する奨学生に相応しい態度と言動をとること。
- (2) 奨学金は学業のためにだけ使い、他の目的には一切使用しないこと。
- (3) 奨学金の給付を受けたときは、直ちに奨学金受領書を提出すること。
- (4) 財団が指示する「モノづくり」現場の体験研修(1日)に参加し、研修レポートを提出すること。
- (5) 次の事項が生じたときは、直ちに届け出ること。
  - ア 本人の氏名、住所、電子メールアドレス等の連絡手段に変更があったとき。
  - イ 休学、復学、転学、留学、留年、停学、退学など学籍上の異動があったとき。

## 12 奨学生終了後のお願い

本財団では、奨学生の方々との「きずな」を大切に考えておりますので、終了後も連絡が取れるようにしてください。

## 13 個人情報の取り扱いについて

本財団は、個人情報の保護に関する法律の趣旨に基づき、奨学生願書等により取得した個人情報は、選考作業や採用後の奨学金及び連絡(前項の「きずな」を含む。)に関する業務に限定して使用いたします。なお、応募書類等は一切返却いたしません。

## 14 お問い合わせ・応募先

〒547-0003

大阪府大阪市平野区加美南 1-1-32(アイコム株式会社内)

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団 事務局長

Tel/Fax 06-4303-0162

E-Mail z\_info@icom.co.jp

URL <https://www.icom.or.jp/>

# 奨 学 生 願 書

(1枚目)

令和 年 月 日

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

理事長 井上 徳造 殿

貴財団の奨学生を希望したいので、所定書類を添付して応募します。

フリガナ		(西暦)(2024年4月1日現在で記載)	
氏名	印	生年月日 年 月 日生 (才)	
本人の 現住所	〒 ー		
電話 番号		国 籍	
E-mail (パソコン)		E-mail (ケータイ)	
4月1日 予定の 学籍	記載例 ○○大学(大学院)○○学部(研究科)○○学科(専攻)○年(博士前期課程○年)		
家族の 住 所	〒 ー		電話 番号
家族 状況 (年齢は 4月1日 現在で 記載)	続柄	氏 名	年 齢
奨学生 を希望 する理 由及び 使用目 的 (300字 まで)	(奨学金は学業(例:学費、学会や研究関係費)のためにだけ使用でき他の目的には使用できません。)		

上半身の写真を貼ってください。 (写真の裏面に氏名、生年月日を記載してください。)	本人履歴	学 歴 ・ 職 歴 等 (西暦)	
		年 月	大学入学
		年 月	
		年 月	
特記事項	趣味		
	性格		
分野	(1) アナログ基礎技術 (2) 無線通信工学 (3) 左記以外の電子通信工学 (学んでいる分野として最も当てはまるものに○をつけてください。)		
研究概要	研究名 (テーマ) 「 _____ 」 (200字まで) (概要) (研究室未配属の場合は研究したいテーマとその概要を書いてください。)		
小論文	課題「習得した知識を将来何に活かしていきたいか」(500字まで)		
(注7.) 業績	(学術論文・学会発表等 — 過去1年以内に発表した第1著者のもの(発表予定で採択が確定しているものを含む)。 なお、当該原稿(予稿なしの場合は、発表ポスター又は発表スライド若しくは発表が確認できる学会プログラムの該当ページ或いは採択通知)の1ページ目のコピーを添付し、表記は論文等の参考文献に準じて記載してください。)		
(注8.) 備考	(その他特記すべき業績・アナログ回路に関する事項等)		

記載上の注意事項(このページは願書に添付不要です。)

- (注 1) 提出書類は全て日本語(氏名は除く)で記載してください。
- (注 2) 奨学生願書・添付書類は片面で記載して裏面は空白にしてください。
- (注 3) 写真の裏面には生年月日及び氏名を記載して貼り付けてください。
- (注 4) 願書の記載はワープロ又は手書きで作成されてもかまいません。ワープロの場合フォントサイズは10.5ポイント以上12ポイント以下(原則12ポイント)とします。
- (注 5) 記載欄が少ない場合は行数を増やして記入ください。(なるべく、指定字数内でまとめるようにしてください。)
- (注 6) 家族状況欄に書ききれない場合は表を増やして記載してください。
- (注 7) 業績欄に記載しきれない場合は行数を増やして記載してください。  
業績の内、学会等での発表論文は、当該原稿(予稿なしの場合は、発表ポスター又は発表スライド若しくは発表が確認できる学会プログラムの該当ページ或いは採択通知)の1ページ目を添付してください。  
発表論文が複数ある場合は、記載内容と添付資料との関係がわかるようにしてください。なお、卒業論文は含みません。
- (注 8) その他特記すべき業績事項等には学内外での業績並びに国家資格等(電気・電子工学に関するもの)を記載してください。

# 奨学生推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

理事長 井上 徳造 殿

〇 〇 大学

学 長 〇〇 〇〇 印

(又は工学研究科長等)

下記の学生は、学業、人物ともに優秀であって、かつ健康であると認められるので、貴財団の奨学生として推薦します。

氏 名		学籍番号	
現住所			
(在学中の大学、大学院、高等専門学校、学部、研究科、専攻、課程、学年を記入してください)			
	大学 大学大学院 高等専門学校専攻科	学部 研究科	学科 専攻 修士課程 専攻 博士前期課程 専攻 博士後期課程 年
※ 該当するものを○で囲んでください			
推薦理由(記載者の役職及び氏名 )			